

「オール国見」で復興、そして「魅力あふれる国見町」を

太田久雄町長 所信表明(抜粋)



今般執行された選挙において、多くの皆様のご支援により無投票当選の榮に浴し、国見町長という重責を担うことになりました。その責任の重さを痛感し、身の引き締まる思いです。皆様のご理解とご協力を賜り、「オール国見」の精神で町政の一層の発展と町民福祉の更なる向

上のため誠心誠意全力で取り組んでまいります。

○町政執行の基本姿勢

- 合併せず、町としてしっかりと維持し、更に発展させ、「魅力あふれる国見町」をつくっていきます。
- 政治的中立の立場で、町民の皆様と十分連携を図りながら、町民主役の町政を実現していきます。
- 40年間の行政経験を活かし、国、県、市町村、関係機関への提言や連携に取り組みます。

○課題を解決し「魅力あふれる国見町」をつくっていくための町政運営

- まず、東日本大震災と原発事故により直面している非常事態の収束のために、町民、関係団体と一丸となって、早急に安全安心な国見町をつくっていくことが、第一です。
- 各産業の振興及び働く場の確保と子育て支援による人口流出への歯止めや文化・スポーツの振興による町の活性化に取り組んでいきます。
- 高齢者対策としての介護支援のための施設の早急な建設と適正な運用、医療体制の充実強化等、思いやりのある町政の実現に取り組んでいきます。



1月6日 消防団出初式(消防車の点検結果報告)

答 (保健福祉課長) 明確な基準はない。町内会の集会所建設の際の助成の限度額と同額とした。

町道の維持管理に1700万円

問 (村上晴夫議員) 町道修繕工事費のうち1500万円の財源の内容は。

答 (建設課長) 町の復興支援交付金基金である。

問 (村上晴夫議員) 町道の経年劣化による修繕箇所は毎年かなりの数になる。今定例会に、町道路路管理責任を問われた事故について、損害賠償により和解したとの報告があった。事故を防ぐために、修繕箇所をどのようにして把握し予算に反映させているか。

答 (建設課長) 職員が道路を巡回し把握している。更に強化し早期に修繕するため25年度予算に反映させていきたい。

防災無線に250万円

問 (浅野富男議員) 防災訓練の際、無線が聞こえにくいのでアンテナの設置を申し込んだがなかなか設置してもらえない等の声があった。アンテナ設置申し込みは何件あるか。また、受信状態の確認はどのように行っているのか。

答 (住民生活課長) 設置場所の移動も含め、申し込みは161件。受信状態は、業者に委託し、地区内に何点かポイントを設定して、受信できるという結果を得ている。基地局を観月台文化センターに移したことにより電波の状態も変化していると思われ、各家庭における設置場所の移動、アンテナの調整等をお願いすることで対応していきたい。



柿の除染作業

4億7,710万円増

農業関係除染に1億9千万円



太田新町長就任後初となる12月議会定例会は、12月11日から14日までの4日間の会期で開かれました。

今定例会には、条例の制定・一部改正、補正予算など21議案が提出され、すべて原案どおり承認、可決しました。議員発議では、条例・規則の改正、意見書・決議など11議案が提出され、すべて原案どおり可決、決定しました。一般質問では、8人の議員が登壇し20項目にわたって町政をたどしました。

補正予算

一般会計(第4号)

既定の歳入歳出総額に4億7710万円を追加し、58億3083万円としまし

各会計補正予算の主な内容

【歳出の主なもの】

- 一般会計(第3号)
 - ・衆議院議員総選挙 944万円
- 一般会計(第4号)
 - (震災関係)
 - ・柿の樹高低下、桃の改植 1億6,787万円
 - ・桃の改植地の除染(表土剥ぎ等) 2,208万円
 - ・農業関係の汚染廃棄物処理 517万円
 - ・原発事故により低下した県産品のイメージ回復のための県からの交付金の積み立て 4,552万円
 - ・社会福祉協議会事務所建設への補助 1,000万円
 - (その他)
 - ・町の借入金の繰上償還 1億3,719万円
 - ・特別養護老人ホームへ道路整備のための補助 2,102万円
 - ・町道の維持管理(修繕工事等) 1,733万円
 - ・防災無線アンテナ設置等 248万円
 - ・個人住宅の太陽光パネル設置に対する補助 150万円
- 公共下水道事業特別会計(第2号)
 - ・震災による下水管の復旧工事 425万円
- 介護保険特別会計(第2号)
 - ・介護保険料増額抑制のため創設した基金への積み立て(介護給付費準備基金から同額を振り替え) 250万円

【歳入の主なもの】

- 一般会計(第4号)
 - (くみ幼稚園整備関係)
 - ・幼稚園複合化補助金 △9,262万円
 - ・学校施設環境改善交付金 3,223万円
 - ・町債(町の借入金) 5,220万円

た。

震災復旧・復興のための経費2億6535万円が歳出の主なもので、うち1億9512万円が農業関係の除染、汚染廃棄物処理、放射性物質の吸収抑制のために使われます。

財源は地方交付税、国県支出金、町債等です。

特に、くみ幼稚園の整

備について、国からの補助金が6039万円の減額となりました。この分を賄うため、幼稚園改修事業債の起債(町の借入金)を5220万円増額します。

以下の質疑を経て、全員賛成で可決されました。

質疑

社会福祉協議会に
1000万円補助

問

(渡辺勝弘議員) 社会福祉協議会の事務所

建設のための補助額を1000万円としたその根拠は。